



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 中外鉱業株式会社
 コード番号 1491 URL <http://www.chugaikogyo.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芳賀 一利
 問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長 (氏名) 桜庭 勲 TEL 03-3201-1541
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

配当支払開始予定日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	28,517	7.8	813		893		296	
2019年3月期	26,457	49.2	593		532		123	

(注) 包括利益 2020年3月期 923百万円 (%) 2019年3月期 520百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2020年3月期	1.03		4.5	11.5	2.9
2019年3月期	0.43		1.9	7.1	2.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2020年3月期	7,756	6,402	82.4	22.07
2019年3月期	7,795	6,699	85.8	23.10

(参考) 自己資本 2020年3月期 6,392百万円 2019年3月期 6,689百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	925	19	438	2,938
2019年3月期	293	167	121	1,593

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大により、当社グループの事業活動への影響を合理的に算定することが困難であることから、現時点においては未定とし、今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	289,747,982 株	2019年3月期	289,747,982 株
期末自己株式数	2020年3月期	100,360 株	2019年3月期	98,582 株
期中平均株式数	2020年3月期	289,648,456 株	2019年3月期	289,649,943 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	28,791	18.1	351		259		232	
2019年3月期	24,382	52.6	251		275		284	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	0.80	
2019年3月期	0.98	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	7,710	6,393	82.9	22.07
2019年3月期	7,172	6,161	85.9	21.27

(参考) 自己資本 2020年3月期 6,393百万円 2019年3月期 6,161百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な企業業績に支えられ、景気は回復基調が持続していたものの、米中貿易摩擦の長期化や、新型コロナウイルスの世界的大流行による各国での経済活動の停止や金融市場の混乱に伴い、国内外において景気が失速する等、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、米国利下げや米中貿易摩擦の長期化、中東情勢を巡る地政学リスク、新型コロナウイルス感染拡大による経済・金融市場の不安等を背景に安全資産としての金需要が高まり上昇基調で推移いたしました。業績につきましては、金価格の上昇が寄与したことから概ね堅調に推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税等の経済政策や低金利の継続により住宅需要は堅調であり、不動産賃貸業界においては、都心部の優良オフィスを中心に空室率は低水準で推移し、賃料水準においても上昇傾向が続く等、堅調に推移いたしました。業績につきましては、都内の販売用不動産において販売損失があったものの、福岡県福岡市の販売用不動産の売却が寄与したことから好調に推移いたしました。機械市況においては、米中貿易摩擦を背景に設備投資意欲の冷え込み等、受注環境は低調に推移しており、中古工作機械業界においても厳しい環境下にあったことから、業績は低調に推移いたしました。投資事業においては、東京商品取引所東京先物に投資を行っており、運用損失を計上したことから業績は低調に推移いたしました。コンテンツ事業においては、全国の小売店やネット通販・自社運営ECサイトにて自社商品を販売の他、大規模イベント等に多数出展、アニメ制作委員会や番組スポンサーへ積極的に参加等、市場のニーズに合った商品の企画・製作・販売を展開しております。業績につきましては、社会現象を巻き起こした大ヒット作「鬼滅の刃」や「ヒプノシスマイク」等の関連グッズが好調であったことや、ジャンプフェスタ等の物販イベントにおいても盛況を博したことから好調に推移いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は28,517,805千円(前年同期26,457,759千円 7.8%増)、営業損益は813,478千円の損失(前年同期は593,139千円の利益)、経常損益は893,930千円の損失(前年同期は532,497千円の利益)、親会社株主に帰属する当期純損益は296,966千円の損失(前年同期は123,582千円の利益)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は25,859,937千円(前年同期23,153,114千円)、営業損益は202,687千円の利益(前年同期51,669千円の利益)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は1,271,502千円(前年同期316,744千円)、営業損益は331,358千円の利益(前年同期15,792千円の利益)となりました。

機械事業におきましては、売上高は1,009,031千円(前年同期1,277,631千円)、営業損益は14,976千円の損失(前年同期39,084千円の利益)となりました。

投資事業におきましては、営業損益は1,307,201千円の損失(前年同期782,684千円の利益)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は1,591,532千円(前年同期895,093千円)、営業損益は355,997千円の利益(前年同期66,884千円の利益)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末より286,808千円増加し、5,408,855千円となりました。

増加の主なものは、現金及び預金の増加(1,593,714千円から2,938,318千円へ1,344,603千円の増加)、商品及び製品の増加(998,257千円から1,268,276千円へ270,018千円の増加)であります。

減少の主なものは、販売用不動産の減少(502,438千円から100,113千円へ402,325千円の減少)及び預け金の減少(1,482,129千円から328千円へ1,481,800千円の減少)であります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末より325,838千円減少し、2,347,767千円となりました。減少の主なものは土地の減少(1,691,391千円から1,472,391千円へ219,000千円の減少)及び長期未収入金の減少(487,019千円から400,915千円へ86,103千円の減少)であります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末より317,935千円増加し、1,015,856千円となりました。

増加の主なものは、買掛金の増加(70,380千円から140,440千円へ70,060千円の増加)及び短期借入金の増加(300,000千円から550,000千円へ250,000千円の増加)であります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末より59,783千円減少し、338,303千円となりました。

減少の主なものは長期借入金の減少(161,100千円から105,211千円へ55,889千円の減少)であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末より297,180千円減少し、6,402,462千円となりました。

減少の主なもの、利益剰余金の減少(472,053千円から175,086千円へ296,966千円の減少)であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,344,603千円増加し、2,938,318千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は925,554千円(前連結会計年度は293,409千円の獲得)となりました。これは主に税金等調整前当期純損失892,134千円、売上債権の増加額191,394千円等による資金の減少があったものの、たな卸資産の減少額307,273千円及び預け金の減少額1,481,800千円等による資金の増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は19,902千円(前連結会計年度は167,959千円の使用)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は438,951千円(前連結会計年度は121,643千円の使用)となりました。これは主に短期借入金の返済による支出350,000千円及び長期借入金の返済による支出111,013千円等による資金の減少があったものの、短期借入れによる収入600,000千円及び非支配株主からの払込みによる収入300,000千円による資金の獲得があったことによるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	86.7	89.7	85.8	82.4
時価ベースの自己資本比率(%)	103.1	102.9	74.3	56.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの世界的大流行によるサプライチェーンの毀損や消費マインドの低下等、国内外において先行き不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループにおいても、貴金属事業における金相場の見通しや原料調達、コンテンツ事業においてグッズ製造における生産体制や販路の維持・確保等、あらゆる面で不確実性が増す状況へと変化しており、当社事業に与える影響が見通せない状況にあります。

このような状況のため、2021年3月期連結業績予想については、合理的な業績予想の算定が非常に困難であるため、現時点においては、未定とさせていただき、今後、合理的に算定することが可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は、海外での活動が限定されているため、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移および国内他社のIFRS(国際財務報告基準)採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,593,714	2,938,318
売掛金	224,375	415,770
商品及び製品	998,257	1,268,276
仕掛品	232,112	329,687
原材料及び貯蔵品	18,815	18,360
販売用不動産	502,438	100,113
仕掛不動産	29,579	—
預け金	1,482,129	328
その他	55,622	378,069
貸倒引当金	△15,000	△40,068
流動資産合計	5,122,047	5,408,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,346,934	1,169,251
減価償却累計額	△714,503	△615,352
建物及び構築物 (純額)	632,430	553,899
機械装置及び運搬具	524,448	504,512
減価償却累計額	△452,497	△451,224
機械装置及び運搬具 (純額)	71,951	53,288
土地	1,691,391	1,472,391
その他	132,677	119,199
減価償却累計額	△106,247	△101,583
その他 (純額)	26,429	17,616
建設仮勘定	—	5,000
有形固定資産合計	2,422,203	2,102,195
無形固定資産		
コンテンツ資産	3,925	—
その他	9,416	12,403
無形固定資産合計	13,341	12,403
投資その他の資産		
投資有価証券	101,946	100,071
出資金	10,205	10,105
長期未収入金	487,019	400,915
敷金及び保証金	115,371	115,243
その他	10,537	7,747
貸倒引当金	△487,019	△400,915
投資その他の資産合計	238,060	233,167
固定資産合計	2,673,605	2,347,767
資産合計	7,795,652	7,756,623

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	70,380	140,440
短期借入金	300,000	550,000
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	110,790	55,666
未払金	38,168	23,028
未払法人税等	27,896	65,186
ポイント引当金	1,800	2,600
その他	98,885	128,934
流動負債合計	697,921	1,015,856
固定負債		
長期借入金	161,100	105,211
金属鉱業等鉱害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	16,926	12,708
繰延税金負債	13,250	8,976
資産除去債務	202,858	207,455
固定負債合計	398,087	338,303
負債合計	1,096,008	1,354,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,248,926	6,248,926
利益剰余金	472,053	175,086
自己株式	△31,243	△31,279
株主資本合計	6,689,736	6,392,734
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△65	△71
その他の包括利益累計額合計	△65	△71
非支配株主持分	9,973	9,800
純資産合計	6,699,643	6,402,462
負債純資産合計	7,795,652	7,756,623

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	26,457,759	28,517,805
売上原価	24,515,373	27,842,948
売上総利益	1,942,385	674,857
販売費及び一般管理費	1,349,245	1,488,335
営業利益又は営業損失(△)	593,139	△813,478
営業外収益		
受取利息及び配当金	126	817
国庫補助金収入	9,725	9,455
保険金収入	12,248	610
その他	1,812	6,785
営業外収益合計	23,911	17,669
営業外費用		
支払利息	7,966	12,134
休山管理費	67,830	70,485
その他	8,756	15,501
営業外費用合計	84,553	98,121
経常利益又は経常損失(△)	532,497	△893,930
特別利益		
固定資産売却益	273	78
投資有価証券売却益	—	10,251
特別利益合計	273	10,329
特別損失		
固定資産除却損	0	8,534
特別損失合計	0	8,534
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前 当期純損失(△)	532,771	△892,134
法人税、住民税及び事業税	13,880	35,230
法人税等調整額	△1,994	△4,274
法人税等合計	11,886	30,956
当期純利益又は当期純損失(△)	520,885	△923,090
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	397,302	△626,124
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△)	123,582	△296,966

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	520,885	△923,090
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	80	△5
その他の包括利益合計	80	△5
包括利益	520,965	△923,096
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	123,662	△296,971
非支配株主に係る包括利益	397,302	△626,124

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				その他の包括利益 累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	為替換算調整 勘定	その他の 包括利益累 計額合計		
当期首残高	6,248,926	348,471	△31,227	6,566,170	△146	△146	△260,752	6,305,272
当期変動額								
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)		123,582		123,582				123,582
自己株式の取得			△16	△16				△16
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				—	80	80	270,725	270,805
当期変動額合計	—	123,582	△16	123,566	80	80	270,725	394,371
当期末残高	6,248,926	472,053	△31,243	6,689,736	△65	△65	9,973	6,699,643

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				その他の包括利益 累計額		非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	為替換算調整 勘定	その他の 包括利益累 計額合計		
当期首残高	6,248,926	472,053	△31,243	6,689,736	△65	△65	9,973	6,699,643
当期変動額								
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△296,966		△296,966				△296,966
自己株式の取得			△35	△35				△35
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				—	△5	△5	△173	△178
当期変動額合計	—	△296,966	△35	△297,002	△5	△5	△173	△297,180
当期末残高	6,248,926	175,086	△31,279	6,392,734	△71	△71	9,800	6,402,462

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)	532,771	△892,134
減価償却費	139,338	79,733
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,000	25,068
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	1,800	800
受取利息及び受取配当金	△126	△817
支払利息	7,966	12,134
補助金収入	△9,725	△9,455
保険金収入	△12,248	△610
有形固定資産売却損益 (△は益)	△273	△78
有形固定資産除却損	0	8,534
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△10,251
売上債権の増減額 (△は増加)	△140,186	△191,394
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△52,715	307,273
仕入債務の増減額 (△は減少)	50,554	70,060
未払金の増減額 (△は減少)	8,035	△1,010
デリバティブ債務の増減額 (△は減少)	△25,900	—
預け金の増減額 (△は増加)	△305,329	1,481,800
差入保証金の増減額 (△は増加)	33,000	—
その他	38,148	55,061
小計	267,110	934,713
利息及び配当金の受取額	126	657
利息の支払額	△7,781	△12,133
補助金の受取額	9,725	9,455
保険金の受取額	42,248	610
法人税等の支払額	△18,019	△7,749
営業活動によるキャッシュ・フロー	293,409	925,554
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△101,918	△26,939
有形固定資産の売却による収入	1,300	97
無形固定資産の取得による支出	△65,581	△4,733
投資有価証券の売却による収入	—	12,126
敷金保証金の増加による支出	△1,285	△1,543
敷金保証金の減少による収入	538	971
その他	△1,012	117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△167,959	△19,902

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	600,000
短期借入金の返済による支出	—	△350,000
長期借入れによる収入	150,000	—
長期借入金の返済による支出	△145,050	△111,013
非支配株主からの払込みによる収入	257,900	300,000
自己株式の取得による支出	△16	△35
非支配株主への分配による支出	△384,478	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121,643	438,951
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,805	1,344,603
現金及び現金同等物の期首残高	1,589,909	1,593,714
現金及び現金同等物の期末残高	1,593,714	2,938,318

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の種類・サービス別のセグメントから構成されており、「貴金属事業」、「不動産事業」、「機械事業」、「投資事業」、「コンテンツ事業」の5つを報告セグメントとしております。

「貴金属事業」は、貴金属・美術品・ダイヤモンド・宝飾品の販売、金・銀・白金・パラジウム地金の生産販売、含金銀非鉄金属の仕入販売等を行っております。「不動産事業」は、分譲・賃貸マンションの販売、不動産の売買、仲介、賃貸及び保守管理並びに企画開発等を行っております。「機械事業」は、中古工作機械・鋳金機械等の仕入販売を行っております。「投資事業」は、有価証券の保有、売買、運用その他の投資を行っております。「コンテンツ事業」は、アニメ、コミック、ゲーム等のキャラクター関連商品の企画・製作・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの損益は、営業損益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ事業	計
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	23,153,114	301,392	1,277,631	813,304	895,093	26,440,534
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	15,352	—	—	—	15,352
計	23,153,114	316,744	1,277,631	813,304	895,093	26,455,887
セグメント利益又はセグメント損失(△)	51,669	15,792	39,084	782,684	66,884	956,114
セグメント資産	1,775,008	2,038,665	1,421,520	1,482,198	532,873	7,250,265
その他の項目						
減価償却費	9,787	27,538	26,648	—	64,584	128,558
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,550	—	—	—	62,632	64,182

	その他	合計
売上高		
(1) 外部顧客への売上高	17,224	26,457,759
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	15,352
計	17,224	26,473,111
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△10,303	945,810
セグメント資産	151,206	7,401,471
その他の項目		
減価償却費	8,901	137,459
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	94,637	158,819

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント					
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	投資事業	コンテンツ事業	計
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	25,859,937	1,256,772	1,009,031	△1,267,750	1,591,532	28,449,524
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14,730	—	—	—	14,730
計	25,859,937	1,271,502	1,009,031	△1,267,750	1,591,532	28,464,254
セグメント利益又はセグメント損失(△)	202,687	331,358	△14,976	△1,307,201	355,997	△432,134
セグメント資産	1,853,888	1,489,106	1,140,389	319,694	972,967	5,776,046
その他の項目						
減価償却費	8,369	27,854	19,565	—	5,399	61,188
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	11,122	—	—	—	2,708	13,831

	その他	合計
売上高		
(1) 外部顧客への売上高	68,281	28,517,805
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14,730
計	68,281	28,532,535
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△11,740	△443,874
セグメント資産	126,909	5,902,956
その他の項目		
減価償却費	17,281	78,470
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	13,831

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	26,455,887	28,464,254
「その他」の区分の売上高※	17,224	68,281
セグメント間取引消去	△15,352	△14,730
連結財務諸表の売上高	26,457,759	28,517,805

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	956,114	△432,134
「その他」の区分の利益	△10,303	△11,740
全社費用※	△352,671	△369,603
連結財務諸表の 営業利益又は損失(△)	593,139	△813,478

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	7,250,265	5,776,046
「その他」の区分の資産	151,206	126,909
全社資産※	394,180	1,853,666
連結財務諸表の資産合計	7,795,652	7,756,623

※全社資産は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	128,558	61,188	8,901	17,281	1,879	1,263	139,338	79,733
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	64,182	13,831	94,637	—	902	3,710	159,721	17,541

※減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	23.10円	22.07円
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり 当期純損失金額(△)	0.43円	△1.03円

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	123,582	△296,966
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	123,582	△296,966
期中平均株式数(千株)	289,649	289,648

(重要な後発事象)

該当事項はありません。